

令和5年度 みやぎ環境交付金事業（計画・実績）概要書

市町村名：大崎市

大崎市居久根ネイチャー・ポジティブ実証事業

<事業目的>

本市を含む「色麻町，加美町，涌谷町，美里町」の1市4町は，平成29年に「世界農業遺産」に認定され，屋敷林「居久根（いぐね）」と水田の生物多様性が高く評価された。屋敷林「居久根」の周辺水田の生物多様性に及ぼす影響について，調査を実施するとともに，所有者，農家，住民，企業，NPO・NGO，自治体が連携して，自然環境の保全に取り組むため，普及啓発を実施し，地域の新たな価値の創出を図った。

<事業内容>

令和5年度

○居久根及び水田の生物多様性の定量化調査（モデル地区）

- ・学識経験者からの指導 4月13日
- ・学識経験者等と連携し，委託調査を実施（7月～2月）
- ・調査周辺地域及び生物多様性に関心のある市民に向け，大崎耕土生物多様性勉強会の開催（1月23日）
- ・一般市民・企業等向け居久根を核としたネイチャー・ポジティブに関する研修会の開催（3月15日）

<事業成果>

委託事業「居久根及び水田の生物多様性の定量化調査事業」により，以下の成果が得られたとともに，一般向け・企業向けにネイチャーポジティブシンポジウムを開催し，居久根の保全・活用に関する機運の醸成を図った。

- ◆居久根 ＝ CO2の削減 ＋ 森林性の動物（鳥類）の生息・繁殖場所であることを確認した。
 - ◆水田農業が盛んである ⇒ 水辺環境が機能している
＝ 水辺を好む小型動物（カエルなど）や湿生植物の生息・生育場にもなっていることを確認した。
 - ◆居久根や水田（水辺）環境により，環境が多様化
 - ◆生き物も多様、それぞれが好んだ環境を選択して生息・生育
- 居久根やその周辺の環境は，とても貴重で重要な存在であることが確認された。